

2025年4月 WEB紹介予約診療科を追加しました!

●対象診療科(2025年4月時点)

消化器内科 循環器内科 産婦人科 乳腺外科

リウマチ・膠原病内科 脳神経外科 脳神経内科

小児循環器 小児消化器・肝臓外来 心臓血管外科

対象診療科は今後も随時拡大予定!
ホームページのお知らせをご確認ください

※ご希望の日時で予約枠が空いていない場合は、従来の紹介方法(FAX)で予約可能な場合がございますのでお問い合わせください。

※WEB紹介予約は担当医でのご予約となりますので、医師のご希望がある場合は従来の紹介方法(FAX)でお申し込みください。

※小児科につきましては「小児循環器」・「小児消化器・肝臓外来」のみWEB予約対象となっております。その他の小児科疾患・症状につきましては従来通りFAXでお申し込みください。

●予約の流れについて

ご利用を開始するにはまずはアカウント登録をおねがいします
https://medigle.jp/reserve_account.html

メディグル予約は
メディグル株式会社が提供する
WEB予約紹介システムです

メディグル予約

検索

<https://medigle.jp/yoyaku.html>

アカウント登録はこちら
登録・利用無料



STEP 01

予約システムに
アクセス後、
アカウントにログイン

STEP 02

診療科→担当医の順で
予約枠を選択

STEP 03

希望の日時を選択し、
紹介患者さんの
情報を入力

完了

発行された予約No.と
予約票をダウンロードし
患者さんへ渡す

ご利用ガイド

利用医療機関様向けの利用ガイドはこちらよりダウンロード可能です
https://medigle.jp/user/media/medigle_service/pdf/yoyakuguide/kumamoto-med.pdf



▼循環器内科
新任医師の紹介

H6
年卒



HORIBATA YOUNKO

堀端
洋子

【専門医・認定医】

- ・日本循環器学会 循環器専門医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本成人先天性心疾患学会成人先天性心疾患専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医・超音波指導医(循環器)
- ・日本心エコー図学会 心エコー図専門医
- ・日本心エコー図学会 SHD心エコー図認定医
- ・日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士
- ・日本病院会 病院総合医

H31
年卒



ISHII KENYUU

石井
健裕

【専門医・認定医】

- ・日本内科学会 専門医
- ・Micraリードレスペースメーカー実施医
- ・CVIT認定医

H24
年卒



TAKAE MASAFUMI

高江
将史

【専門医・認定医】

- ・日本循環器学会専門医
- ・日本内科学会認定医・総合内科専門医
- ・日本心臓血管インターベンション治療学会認定医

R2
年卒



MATSUMURA KOUTAROU

松村
光太郎

【専門医・認定医】

なし

熊本赤十字病院
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

熊本市東区長嶺南二丁目1-1
TEL.096-384-2111

【ご意見・ご質問はこちらへ】 iryorenkei@kumamoto-med.jrc.or.jp



webサイト

SNSでも最新情報を更新中です



Instagram



YouTube



Facebook

熊本赤十字病院
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

循環器内科・心臓血管外科 医療連携広報誌
[クロスレター]

未来に希望を、「ハート」に灯りを。

vol. | 27
2025夏号

CROSS LETTER



血液サラサラいつまで続ける?
脳梗塞と心臓血管病での使い方

SEASON
GREETINGS

今回から、CROSS LETTER表紙の挨拶を担当します心臓血管外科 平山亮です。どうぞよろしくお願い致します。さて、今回のテーマは、『血液サラサラいつまで続ける?~脳梗塞と心臓血管病での使い方~』です。何種類もの抗血小板薬や抗凝固薬の中から、どの薬剤を、どのような使い方で、どのくらいの期間使用したらいいのか?という疑問に対して、脳神経内科、循環器内科、心臓血管外科での代表的な使い方を解説しています。微力ながら皆様の診療にお役立ていただければ幸いです。

今回は抗血栓薬について循環器内科、心臓血管外科、神経内科からの情報提供です。抗血栓薬は私たちのような急性期病院で開始されてかかりつけ医の先生方に継続いただくケースが多いかと思えます。中にはその後の出血性疾患でご迷惑をおかけする場合もあるかと予想しております。抗血栓薬の中には終生継続が必要な場合と一定期間で中止/減量できる場合があります。対象疾患や薬剤によりケースバイケースというややこしい面もあります。本号が皆様の日常診療の一助となれば幸いです。

第一心臓血管外科
部長
平山 亮

第二循環器内科
部長
小出 俊一



●患者さんのご紹介は下記FAXへ

fax.096-384-3970

受付時間 医療連携室(8:30~17:00)



●緊急コールはこちら

tel.096-384-2111(代表)

鈴木 龍介(直通) tel.070-6911-8517

発行・熊本赤十字病院 循環器内科・心臓血管外科 発行日:2025年7月

CHAPTER 01

脳梗塞に対する抗血栓療法
再発予防編

元熊本赤十字病院 脳神経内科 黒木 健至



脳梗塞は再発が多に多い病気であり、再発率は1年間で10%、10年間で50%という報告もあります。脳梗塞の再発を予防するためには、血圧、脂質、血糖などの基礎疾患の管理、運動や禁煙といった生活習慣の改善に加えて、脳梗塞の病型に合わせて適切に抗血栓薬を使用することが重要です。脳梗塞には、細い血管が詰まるラクナ梗塞、中～大型の血管の動脈硬化が原因で起こるアテローム血栓性脳梗塞、心臓にできた血栓が流れ着いて脳血管を詰まらせる心原性脳塞栓症という三大病型があり、この三大病型で脳梗塞全体の8～9割を占めます。このうち、ラクナ梗塞とアテローム血栓性脳梗塞の2つをまとめて非心原性脳梗塞と呼びます。非心原性脳梗塞の発症には血小板凝集が大きく関わるため、抗血小板薬による再発予防を行います。一方、心原性脳塞栓症の原因のほと

CHAPTER 02

循環器領域の抗血栓療法up to date
-虚血性心疾患領域における抗血栓療法-

循環器内科 老松 優



血栓形成のメカニズムは、動脈血栓と静脈血栓で大きく異なります。動脈血栓のメカニズムには速い血流と血小板の凝集が大きく関わっており、抗血栓療法としては抗血小板療法が中心となります。一方で、静脈血栓のメカニズムには血流のうっ滞と凝固反応の亢進が関わっており、抗血栓療法としては、抗凝固療法が中心となります。虚血性心疾患において、抗血栓療法の基本は抗血小板療法となります。近年、経皮的冠動脈インターベンション(PCI;特にステント留置)後しばらくは抗血小板療法の2剤併用(DAPT)を行うことが必要とされています。昨今のトピックとしては、PCI後のDAPT期間や抗凝固療法併用下における抗血栓療法の取扱いが挙げられます。最新のガイドラインにおいて、DAPT期間に関して、患者様個々の血栓リスクと出血リスクを評価し、設定することが求められ

CHAPTER 03

心臓血管外科術後の抗血栓療法

心臓血管外科 小島 丈典



心臓大血管手術の術後抗血栓療法には冠動脈バイパス術後の抗血小板療法、弁膜症手術後の抗凝固療法があげられます。冠動脈バイパス術後の抗血小板療法は、アスピリン単剤 (SAPT)が基本です。急性冠症候群の場合やPCIに続けて施行した冠動脈バイパス術の場合は術後抗血小板薬の2剤併用療法(DAPT)が推奨されますが、12ヶ月以内にSAPTに変更することが重要です。弁膜症治療に対する抗凝固療法はワーファリンを用いて行われ、弁形

んどは心房細動によって生じる左房内血栓であり、抗凝固薬による再発予防を行います。現在、日本で非心原性脳梗塞に対して使用が認められている抗血小板薬は、アスピリン、クロピドグレル、シロスタゾール、プラスグレルの4種類です。それぞれの特徴として、アスピリンは抗血小板作用の他に消化管粘膜障害作用を持つため、PPIなどの制酸薬を併用することがガイドラインで推奨されています。クロピドグレルはアスピリンと比較して脳梗塞再発予防効果は同等かやや高く、消化管潰瘍や脳出血などのリスクが少ないと報告されていますが、日本を含む東アジア地域では欧米に比べてクロピドグレルの効果が減弱する遺伝子多型を持つ人の割合が高い点に注意が必要です。シロスタゾールはアスピリンと比較して脳梗塞再発予防効果は高く、脳出血などの出血性合併症は少ないなど優秀な効果を持つ一方で、1日2回内服であること、頭痛、動悸、頻脈などの副作用が高い頻度で発生することなど服薬アドヒアランスの面で先の2剤にやや劣ります。また、心負荷が増大するためうっ血性心不全の患者さんへの使用は禁忌であり、狭心症などの

ています。具体的には、年齢やフレイルといった患者状態や、ACSやCKD、DM、AF、心不全などの疾患背景、抗凝固療法やステロイドなどの併用薬、PCI手技内容を踏まえ、血栓リスクや出血リスクを評価します。総じて、血栓リスクが高い症例は出血リスクも高くなる傾向がありますが、基本的には出血リスクを重要視することが求められています。標準的なDAPT期間は3ヶ月程度とされますが、これらのリスク評価を踏まえ、患者様個々に応じて適切なDAPT期間を設定する必要があります。特に重要なポイントは、抗凝固療法併用



図1 日本人における血栓リスクの評価図解

他の心疾患の悪化にも注意が必要です。プラスグレルは近年新たに承認された抗血小板薬であり、クロピドグレルと同じP2Y12阻害薬というグループに属する薬剤です。クロピドグレルとは異なり遺伝子多型の影響を受けにくく内服後の効果発現が速いという利点があり、再発リスクの高い非心原性脳梗塞の患者さんへの使用が認められています。経口抗凝固薬にはワルファリンとDOAC(ダビガトラン、アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバンの4種類)があります。大規模臨床試験のメタ解析の結果、ワルファリンよりもDOACの方が頭蓋内出血は少なく、塞栓症予防効果は非劣性であることが示されており、現在のガイドラインではワルファリンとDOACの両者を使用できる場合には、DOACを選択することが推奨されています。DOACの4種類にはそれぞれ通常用量と減量容量が定められており、減量基準はそれぞれの薬剤で異なるため、添付文書を正確に把握しておく必要があります。減量基準を逸脱した容量調整は有害イベントの増加と関連することが複数のメタ解析で報告されており、添付文書に準じた処方を守ることが重要です。

下では、DAPT期間は極力短くすること、その後は抗血小板薬単剤と抗凝固療法の2剤を継続し、1年以上経過した安定期には、抗凝固療法単剤へと切り替えることが推奨されております。日常診療において、漫然と抗血小板療法と抗血小板療法が併用され続けている場合がありますが、出血性イベントの発症は、血栓性イベントを含めた心血管イベントや死亡リスクを高めることが知られており、患者様を守るためにも適切な抗血栓療法の選択と継続が望まれます。

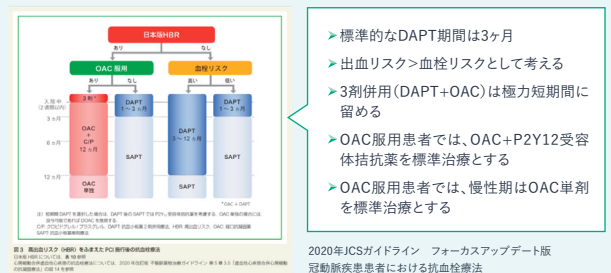


図2 日本人における血栓リスクの評価図解

図3 日本人における血栓リスクの評価図解

図4 日本人における血栓リスクの評価図解

図5 日本人における血栓リスクの評価図解

図6 日本人における血栓リスクの評価図解

図7 日本人における血栓リスクの評価図解

図8 日本人における血栓リスクの評価図解

図9 日本人における血栓リスクの評価図解

図10 日本人における血栓リスクの評価図解

図11 日本人における血栓リスクの評価図解

図12 日本人における血栓リスクの評価図解

図13 日本人における血栓リスクの評価図解

図14 日本人における血栓リスクの評価図解

図15 日本人における血栓リスクの評価図解

図16 日本人における血栓リスクの評価図解

図17 日本人における血栓リスクの評価図解

図18 日本人における血栓リスクの評価図解

図19 日本人における血栓リスクの評価図解

図20 日本人における血栓リスクの評価図解

図21 日本人における血栓リスクの評価図解

図22 日本人における血栓リスクの評価図解

図23 日本人における血栓リスクの評価図解

図24 日本人における血栓リスクの評価図解

図25 日本人における血栓リスクの評価図解

図26 日本人における血栓リスクの評価図解

図27 日本人における血栓リスクの評価図解

図28 日本人における血栓リスクの評価図解

図29 日本人における血栓リスクの評価図解

図30 日本人における血栓リスクの評価図解

図31 日本人における血栓リスクの評価図解

図32 日本人における血栓リスクの評価図解

図33 日本人における血栓リスクの評価図解

図34 日本人における血栓リスクの評価図解

図35 日本人における血栓リスクの評価図解

図36 日本人における血栓リスクの評価図解

図37 日本人における血栓リスクの評価図解

図38 日本人における血栓リスクの評価図解

図39 日本人における血栓リスクの評価図解

図40 日本人における血栓リスクの評価図解

図41 日本人における血栓リスクの評価図解

図42 日本人における血栓リスクの評価図解

図43 日本人における血栓リスクの評価図解

図44 日本人における血栓リスクの評価図解

図45 日本人における血栓リスクの評価図解

図46 日本人における血栓リスクの評価図解

図47 日本人における血栓リスクの評価図解

図48 日本人における血栓リスクの評価図解

図49 日本人における血栓リスクの評価図解

図50 日本人における血栓リスクの評価図解

図51 日本人における血栓リスクの評価図解

図52 日本人における血栓リスクの評価図解

図53 日本人における血栓リスクの評価図解

図54 日本人における血栓リスクの評価図解

図55 日本人における血栓リスクの評価図解

図56 日本人における血栓リスクの評価図解

図57 日本人における血栓リスクの評価図解

図58 日本人における血栓リスクの評価図解

図59 日本人における血栓リスクの評価図解

図60 日本人における血栓リスクの評価図解

図61 日本人における血栓リスクの評価図解

図62 日本人における血栓リスクの評価図解

図63 日本人における血栓リスクの評価図解

図64 日本人における血栓リスクの評価図解

図65 日本人における血栓リスクの評価図解

図66 日本人における血栓リスクの評価図解

図67 日本人における血栓リスクの評価図解

図68 日本人における血栓リスクの評価図解

図69 日本人における血栓リスクの評価図解

図70 日本人における血栓リスクの評価図解

図71 日本人における血栓リスクの評価図解

図72 日本人における血栓リスクの評価図解

図73 日本人における血栓リスクの評価図解

図74 日本人における血栓リスクの評価図解

図75 日本人における血栓リスクの評価図解

図76 日本人における血栓リスクの評価図解

図77 日本人における血栓リスクの評価図解

図78 日本人における血栓リスクの評価図解

図79 日本人における血栓リスクの評価図解

図80 日本人における血栓リスクの評価図解

図81 日本人における血栓リスクの評価図解

図82 日本人における血栓リスクの評価図解

図83 日本人における血栓リスクの評価図解

図84 日本人における血栓リスクの評価図解

図85 日本人における血栓リスクの評価図解

図86 日本人における血栓リスクの評価図解

図87 日本人における血栓リスクの評価図解

図88 日本人における血栓リスクの評価図解

図89 日本人における血栓リスクの評価図解

図90 日本人における血栓リスクの評価図解

図91 日本人における血栓リスクの評価図解

図92 日本人における血栓リスクの評価図解

図93 日本人における血栓リスクの評価図解

図94 日本人における血栓リスクの評価図解

図95 日本人における血栓リスクの評価図解

図96 日本人における血栓リスクの評価図解

図97 日本人における血栓リスクの評価図解

図98 日本人における血栓リスクの評価図解

図99 日本人における血栓リスクの評価図解

図100 日本人における血栓リスクの評価図解

図101 日本人における血栓リスクの評価図解

図102 日本人における血栓リスクの評価図解

図103 日本人における血栓リスクの評価図解

図104 日本人における血栓リスクの評価図解

図105 日本人における血栓リスクの評価図解

図106 日本人における血栓リスクの評価図解

図107 日本人における血栓リスクの評価図解

図108 日本人における血栓リスクの評価図解

図109 日本人における血栓リスクの評価図解

図110 日本人における血栓リスクの評価図解

図111 日本人における血栓リスクの評価図解

図112 日本人における血栓リスクの評価図解

図113 日本人における血栓リスクの評価図解

図114 日本人における血栓リスクの評価図解

図115 日本人における血栓リスクの評価図解

図116 日本人における血栓リスクの評価図解

図117 日本人における血栓リスクの評価図解

図118 日本人における血栓リスクの評価図解

図119 日本人における血栓リスクの評価図解

図120 日本人における血栓リスクの評価図解

図121 日本人における血栓リスクの評価図解

図122 日本人における血栓リスクの評価図解

図123 日本人における血栓リスクの評価図解

図124 日本人における血栓リスクの評価図解

図125 日本人における血栓リスクの評価図解

図126 日本人における血栓リスクの評価図解

図127 日本人における血栓リスクの評価図解

図128 日本人における血栓リスクの評価図解

図129 日本人における血栓リスクの評価図解

図130 日本人における血栓リスクの評価図解

図131 日本人における血栓リスクの評価図解

図132 日本人における血栓リスクの評価図解

図133 日本人における血栓リスクの評価図解

図134 日本人における血栓リスクの評価図解

図135 日本人における血栓リスクの評価図解

図136 日本人における血栓リスクの評価図解

図137 日本人における血栓リスクの評価図解

図138 日本人における血栓リスクの評価図解

図139 日本人における血栓リスクの評価図解

図140 日本人における血栓リスクの評価図解

図141 日本人における血栓リスクの評価図解

図142 日本人における血栓リスクの評価図解

図143 日本人における血栓リスクの評価図解

図144 日本人における血栓リスクの評価図解

図145 日本人における血栓リスクの評価図解

図146 日本人における血栓リスクの評価図解

図147 日本人における血栓リスクの評価図解

図148 日本人における血栓リスクの評価図解

図149 日本人における血栓リスクの評価図解

図150 日本人における血栓リスクの評価図解

図151 日本人における血栓リスクの評価図解

図152 日本人における血栓リスクの評価図解

図153 日本人における血栓リスクの評価図解

図154 日本人における血栓リスクの評価図解

図155 日本人における血栓リスクの評価図解

図156 日本人における血栓リスクの評価図解

図157 日本人における血栓リスクの評価図解

図158 日本人における血栓リスクの評価図解

図159 日本人における血栓リスクの評価図解

図160 日本人における血栓リスクの評価図解

図161 日本人における血栓リスクの評価図解

図162 日本人における血栓リスクの評価図解

図163 日本人における血栓リスクの評価図解

図164 日本人における血栓リスクの評価図解

図165 日本人における血栓リスクの評価図解

図166 日本人における血栓リスクの評価図解

図167 日本人における血栓リスクの評価図解

図168 日本人における血栓リスクの評価図解

図169 日本人における血栓リスクの評価図解

図170 日本人における血栓リスクの評価図解

図171 日本人における血栓リスクの評価図解

図172 日本人における血栓リスクの評価図解

図173 日本人における血栓リスクの評価図解

図174 日本人における血栓リスクの評価図解

図175 日本人における血栓リスクの評価図解

図176 日本人における血栓リスクの評価図解

図177 日本人における血栓リスクの評価図解

図178 日本人における血栓リスクの評価図解

図179 日本人における血栓リスクの評価図解

図180 日本人における血栓リスクの評価図解

図181 日本人における血栓リスクの評価図解

図182 日本人における血栓リスクの評価図解

図183 日本人における血栓リスクの評価図解

図184 日本人における血栓リスクの評価図解

図185 日本人における血栓リスクの評価図解

図186 日本人における血栓リスクの評価図解

図187 日本人における血栓リスクの評価図解

図188 日本人における血栓リスクの評価図解

図189 日本人における血栓リスクの評価図解

図190 日本人における血栓リスクの評価図解

図191 日本人における血栓リスクの評価図解

図192 日本人における血栓リスクの評価図解

図193 日本人における血栓リスクの評価図解

図194 日本人における血栓リスクの評価図解

図195 日本人における血栓リスクの評価図解

図196 日本人における血栓リスクの評価図解

図197 日本人における血栓リスクの評価図解

図198 日本人における血栓リスクの評価図解

図199 日本人における血栓リスクの評価図解

図200 日本人における血栓リスクの評価図解

図201 日本人における血栓リスクの評価図解

図202 日本人における血栓リスクの評価図解

図203 日本人における血栓リスクの評価図解

図204 日本人における血栓リスクの評価図解

図205 日本人における血栓リスクの評価図解

図206 日本人における血栓リスクの評価図解

図207 日本人における血栓リスクの評価図解

図208 日本人における血栓リスクの評価図解

図209 日本人における血栓リスクの評価図解

図210 日本人における血栓リスクの評価図解

図211 日本人における血栓リスクの評価図解

図212 日本人における血栓リスクの評価図解

図213 日本人における血栓リスクの評価図解

図214 日本人における血栓リスクの評価図解

図215 日本人における血栓リスクの評価図解

図216 日本人における血栓リスクの評価図解

図217 日本人における血栓リスクの評価図解

図218 日本人における血栓リスクの評価図解

図219 日本人における血栓リスクの評価図解

図220 日本人における血栓リスクの評価図解

図221 日本人における血栓リスクの評価図解

図222 日本人における血栓リスクの評価図解

図223 日本人における血栓リスクの評価図解

図224 日本人における血栓リスクの評価図解

図225 日本人における血栓リスクの評価図解

図226 日本人における血栓リスクの評価図解

図227 日本人における血栓リスクの評価図解

図228 日本人における血栓リスクの評価図解

図229 日本人における血栓リスクの評価図解

図230 日本人における血栓リスクの評価図解

図231 日本人における血栓リスクの評価図解

図232 日本人における血栓リスクの評価図解

図233 日本人における血栓リスクの評価図解

図234 日本人における血栓リスクの評価図解

図235 日本人における血栓リスクの評価図解

図236 日本人における血栓リスクの評価図解

図237 日本人における血栓リスクの評価図解